

ここが聞きたい!!

4名が登壇

平和市長会議加入と核兵器廃絶！

広田 清晴 議員

問 今年の8・6世界大会ヒロシマに参加後、町長に世界大会の特徴を伝えると共に「広島・長崎議定書」の署名と「平和市長会議」参加を訴えた。認識を問う。



答 (町長) 9月10日付けで加盟申請した。今後町民への啓発啓蒙、各種運動参加などに取り組む。

問 志佐火葬場の跡地整備と、大島斎場の「畳の間」の増設、橋斎場では、通夜・葬儀ができるよう改善を求める。

答 (町長) 志佐火葬場については今年度ダ

イオキシン調査をし、結果を踏まえ県に許可申請をし、解体処分を実施したい。大島火葬場は内部改修、外部改修とも困難。橋火葬場は施設の規模、運用形態、財政的課題を踏まえいましばらく検討させていただきたい。

問 庁舎前にある老人福祉センターは老朽化している。社協財産とはいえいつまでも放置はできない。社協の財政状況等を踏まえれば、町は各種団体が入れるようなことも含め、協議を開始することを求める。

答 (町長) 社協に対する認識は広田議員と一緒に。社協がどのように考えているのか聞いてみたい。

その他 県事業に関わる環境整備、竜崎温泉回数券等考えをただした。

元気な町づくりの為の研修を！

中村 美子 議員

問 これからの自治体は、個性豊かな町づくりを進めなければならない。10年後には自治体いかによっては相当の格差がつくだろうと言われている。個性豊かな町



づくりを進めることは、若い職員の新たな発想、アイデアが必要だがその事を発表する機会がない。指示に従って黙々と仕事を処理していく事も大切なことだが、そのうちに枠にはまった職員になっていくのが実態ではないだろうか。計画により実施された研修よりも民間団体の町おこし奉仕活動

や、町民が協力し合って町づくりに取り組んでいる事例の仲間に入り、一緒に活動して見ることは職員の視点転換になるかと思うが町長の考えを問う。

答 (町長) 職員の研修については出席義務付けている基本講座が今年は10講座、任意の参加予定が27講座、その他東京にある市町村職員中央研修所等任意参加研修メニューがある。本町の場合、自主的な希望があった場合、予算措置が必要なので、問題点を整理検討して行きたい。

基本的な事ですが、明るく気持ちのよいあいさつ、友愛の気持ちで対応していただきたい。



三次市へ職員研修派遣の出発式